

事業計画書

1. 施設運営方針

- ① 利用者へのサービスについて職員が共通認識を持ち、一人一人の発達を支援します。
- ② 健全な環境作りに努め、利用者が主体的に生活できるように自己選択・自己決定を大切にします。
- ③ 他の社会資源との連携を図り、適正且つきめ細かなサービスを提供します。
- ④ 開かれた施設を目標に多方面でボランティアを受け入れ、ノーマライゼーションの理念を、地域に向けて発信していきます。

利用者支援方針

○基本姿勢

- ①利用者一人ひとりの個性を尊重し、個別支援計画に基づいた適切な支援を進めます。
- ②利用者への安定した関わりが継続できるよう、職員・スタッフ間の情報共有と共通理解を深めるようにします。
- ③相談機関をはじめ、地域の様々な資源（施設・医療機関・学校）と連携してそれぞれの専門性を効果的に活用するよう努めます。
- ④日々の支援内容や業務を職員間で毎日振り返り、情報の共有をします。

○「生活介護事業」の取り組み

- ・ 一人ひとりに必要な援助と必要な支援方法を考えた個別支援計画を作成します。
- ・ 職員と保護者との信頼関係を深め、利用者が健康で主体的な生活が送れるように協力していきます。
- ・ 利用者の障がいの状況に配慮しながら、作業活動を取り入れると共に創作や戸外活動を充実していきます。

○「就労継続支援B型支援事業」の取り組み

- ・ 宅配弁当事業や手工芸品製作、調理補助、接客、軽作業、創作作業を行いながら働くことの意義や姿勢、社会のルール、仲間との関わり、地域交流等の獲得ができ、尚且つ生活の質(QOL)の向上を図れる支援をします。
- ・ 自主製品作りを行い、1階のギャラリー喫茶(カフェあみくる)や市内の障がい者施設製品の販売所「カフェふらっと」での展示販売により、利用者の販売意欲を高め、地域の方々との交流の機会として社会性を育てていきます。

2, 授産事業の計画

○生活介護事業

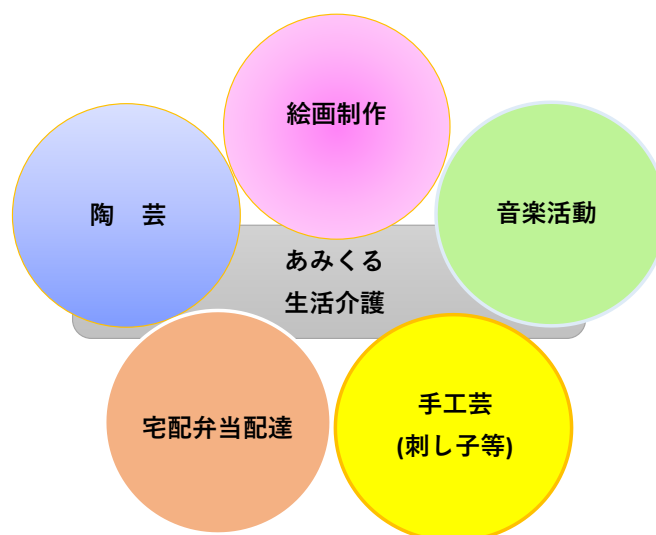
事業所名：あみくる

定員：10名 利用契約者：11名

職員：管理者1名 サービス管理責任者1名

生活支援員：9名(正職員2名、パート7名) 医師：1名 看護師：1名

●作業内容および活動内容



<手工芸品(刺し子、さき織り)>

- ・ 週に1回来所して下さるボランティアのご指導で刺し子製作は安定して継続している。利用者の作品を販売できる製品にする作業はボランティアと協力し、スタッフも一緒に取り組んでいる。

<陶芸>

- ・ 陶芸作品製作を通じて創造性を養い、粘土に触れることで手指の感覚や力加減を身につける

<弁当配達>

- ・ 弁当配達を通じ、地域交流、挨拶、運動不足の解消を目指す。

<絵画制作>

- ・ 創造性や手指巧緻動作、目と手の連動性、展示または製品化されることでの達成感の獲得を目指す。

<音楽活動>

- ・ 週に一回、ピアノ伴奏ができるスタッフと共に、リングベル・ウクレレ・マラカスなどの楽器を使って楽しい時間を過ごす。

○就労継続支援B型事業

事業所名：あみくる

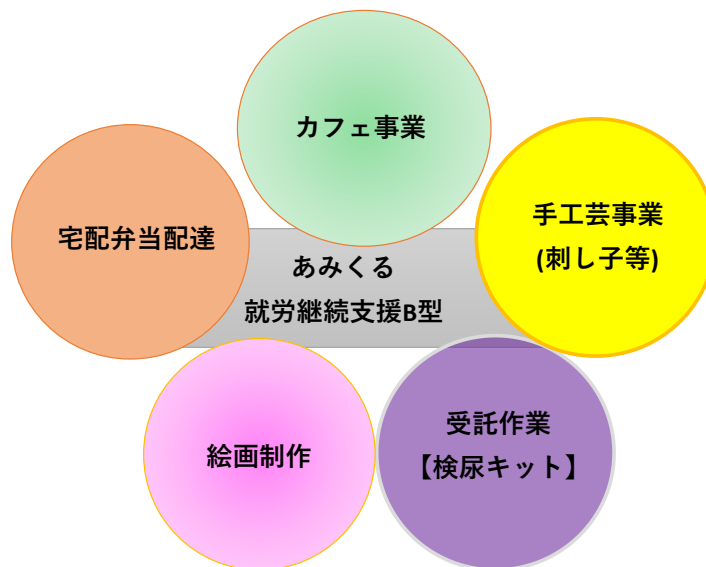
定員：10名 利用契約者：10名

職員：管理者1名 サービス管理責任者1名(生活介護事業と兼務)

職業指導員：1名(正職員1名)

生活支援員：1名(パート1名)

●作業内容



<手工芸品(刺し子、アクリルたわし)の製作>

- ・ 布地に触れることや製作過程で手指の感覚や力加減を身に付ける。

<受託作業>

- ・ 株式会社光希様より採尿キットの梱包作業を請け負っている。
工程は多いが、繰り返し取り組むことで利用者さん達も工程が身についてきた。
作業速度の向上が見込まれる。

<弁当配達>

- ・ 弁当配達を通じ、地域交流や、挨拶、運動不足の解消、働く意識の獲得を目指す。

<絵画制作>

- ・ 創作性や手指巧緻動作、目と手の連動性、展示または製品化されることでの達成感の獲得、QOLの向上を目指す。

<カフェ>

- ・ カフェでの作業を通じ、作業を完遂することの達成感や本人の役割、金銭感覚や丁寧な言葉遣い等の獲得を目指す。また、工賃向上の為にもカフェの売上を上げる取り組み(新メニュー開発、イベントへの出店等)も視野に入れていく。

○就労継続支援B型事業

事業所名：あみくるおべんと屋さん

定員：20名 利用契約者：19名

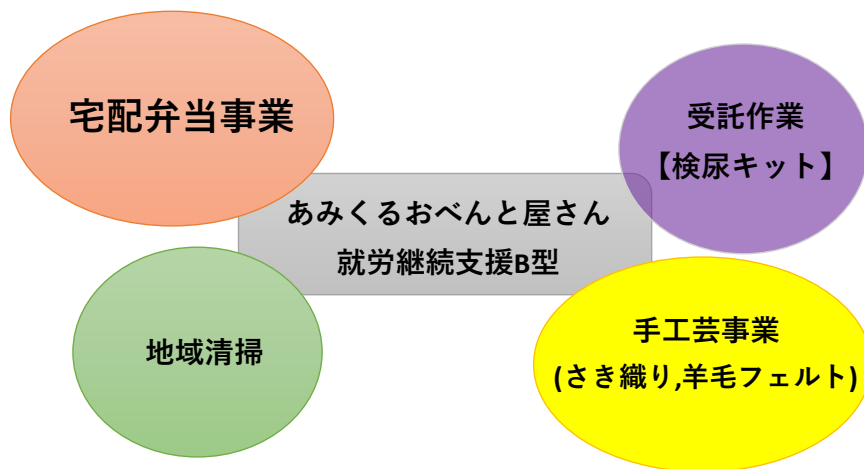
職員：管理者兼サービス管理責任者1名

職業指導員：9名(正職員2名、パート7名)

生活支援員：4名(正職員2名、パート2名)

事務員：1名(パート1名)

●作業内容



<宅配弁当事業>

- ・ 昨年度に引き続き、調理器具の適切な扱い方、洗い物等、働く意識等の獲得を目指す。また、配達を通して地域社会との交流を広げながら顧客を増やす営業努力を行う。ひいては宅配弁当の受注数を増やし、利用者の工賃向上も目指す。

<手工芸品の製作>

- ・ 目と手の協調性や手指の巧緻動作、製品を作り上げる達成感や自信、働く意識の獲得を目指す。

<請負作業>

- ・ 株式会社光希様より採尿キットの梱包作業を請け負っている。工程は多いが、繰り返し取り組むことで利用者さん達も工程が身についてきた。作業速度の向上が見込まれる。

3, 企業等の連携、販路等について

- ・ あみくる出張所である「**SHOP いろいろ**」にて、自主製作した製品を展示販売し収益を上げる。展示の工夫にも力を入れ、魅力的な店舗にしていく努力をする。
- ・ 「**カフェふらっと**」にて、これまでの製品に加えて新たな商品を増やし、法人の認知度や販売収益を強化する。
- ・ ギャラリー喫茶「**カフェあみくる**」はこれまで通り絵画・写真等の展示を行うが、特に地域の方々の絵手紙等の展示を増やし、見に来てくださる方々にあみくるを知っていただく機会を広げていきたい。
カフェそのものも新メニューの企画に力を注ぐ。
- ・ 「**茶色の小びん**」では、展示／販売実績があり理解のあるオーナーの協力を得て連携の強化を図る。
- ・ 「**タカノ珈琲**」では、ご協力頂いているボランティア等を通して展示／販売の機会を増やし、販売収益を伸ばす。
- ・ 地域の販売場所として中央ふれあい館と青木東公民館の販売に力を入れ、売り上げ向上をはかる。今後も引き続き公民館のイベントに参加していく。
- ・ 手工芸品のタグなどを専門家にデザインしてもらい、布ぞうり等ラッピングなども工夫し、製品そのものだけでなく見た目も魅力あるアイテムにしていく。
- ・ 法人全体のパンフレットをリニューアルし、施設そのものや宅配弁当献立、カフェメニューや手工芸品製品など、広範囲に向けて社会福祉法人あみくる **Days** をアピールしていく。

4, 令和8年度あみくる・あみくるおべんと屋さん年間活動・行事計画（案）

開催日		事業内容	備考
4月	6日(月)	入所式	中央ふれあい館
5月	12日(火)	感染症対策委員会	両施設
	16日(土)	あみくるバザー	あみくる
	20日(水)	みんなの音楽会	リリア音楽ホール
6月	1日(月)	日帰り旅行	両施設
	8日(月)	植栽活動(1回目)	あみくる
7月	7日(火)	虐待防止・身体拘束廃止委員会	両施設
	20日(月)	保護者会	中央ふれあい館
	27日(月)	テーマ研修	両施設
9月	1日(火)	非常食点検日	両施設
	3日(木)	感染症対策委員会	
	4日(金)	誕生日会(前半)	各施設
	11日(金)	避難訓練	各施設
	14日(月)~22日(火)	支援計画に関わる面談	各施設
10月	3日(土)	あみくるまつり	あみくる
	6日(火)	BCP(災害)研修	両施設
	11日(日)	こども祭り	キュポ・ラ広場
	17日(土)	ハートフェスタ(予定)	キュポ・ラ広場
	24日(土)	青木東公民館	青木東公民館
11月	5日(木)	歯科健診	両施設
	9日(月)	植栽活動(2回目)	あみくるおべんと屋さん
12月	5日(土)	クリスマス会	中央ふれあい館
	29日(火)~3日(日)	冬季休業	
1月	4日(月)	仕事始め	両施設
	14日(木)	全体研修(虐待防止権利擁護)	両施設
2月	1日(月)	避難訓練	両施設
	10日(水)	保護者会	中央ふれあい館
3月	5日(金)	誕生日会(後半)	各施設
	15日(月)	健康診断	済生会健診センター
	6日(土)	ふれあい館文化祭	各施設
	16日(火)~23日(火)	支援計画に関わる面談	各施設

5, その他の活動計画

活動名	活動期間	場所
体育活動	2カ月に1回	ふれあい館または各施設
英語教室	2カ月に2回	各施設
アトリエ教室	週1回(月)	あみくる
内部職員研修	6月	あみくる
	11月	
施設全体研修	1月	あみくる
BCP研修(感染症、災害)	各年1回	両施設
避難訓練	年2回程度(9月、2月)	各施設
施設会議	月1回(第3木曜日)	各施設
職員会議	月1回(第3木曜日)	あみくる
衛生用品在庫確認	3カ月に1回	各施設
訪問看護(看護師) <生活介護部門>	週1回(木)	あみくる
訪問診察(たたら内科医師) <生活介護部門>	月1回(木)	あみくる